

唐津市厳木町内水ハザードマップ

この地図は、大雨で川が増水し、降った雨が川へ排水出来ずにはん溢した場合（内水はん溢）に想定される浸水範囲とその程度ならびに各地区の避難場所を示したもので、被害に関する必要な情報を提供すること、被害軽減を目的としています。

なお、雨の降り方や土地の状態によっては、この地図で示された区域以外でも浸水することがありますので注意してください。

●凡 例

浸水想定区域

概ね10年に1回程度の雨を想定し、浸水シミュレーションを行った結果、内水はん溢の恐れがある区域

5.0m以上の浸水域	0.5～1.0m未満
2.0～5.0m未満	0.5m未満
1.0～2.0m未満	

記号の説明

	避難所1(相木山小学校)		警察署
	避難所2(うつぼ小学校)		消防署
	避難所3(厳木高等学校)		病院
	市町界		国道
	橋		主要な道路

●避難施設一覧

マップに掲載している避難施設

地区名	避難施設	所在地	電話番号
厳木		厳木町本山 235-1	53-7112
		相木山 235-1	53-2036
		厳木町 997	53-2935
		厳木町 727	63-2535

マップに掲載していない避難施設

地区名	避難施設	所 在 地	電話番号
厳木	厳木中学校	厳木町厳木 328-1	63-2531
	厳木コミュニティセンター	厳木町中島 1337	63-2262
	厳木町保健センター	厳木町中島 1348-1	51-5251

※黄色に着色した施設は、降雨の状況によっては、避難所として制約を受ける場合がありますので、ご注意ください。

※どの避難場所に避難してもかまいません。厳木市民センター
※避難する場合には、市役所本庁（TEL:72-9111）、厳木支所（TEL:53-7110）にご連絡ください。

●公共機関・病院一覧

	名 称	所 在 地	電話番号
公共機関	① 岩屋駐在所	岩屋 959-1	63-3699
	② 唐津市消防本部南部分署	相木山 235-23	63-3142
病 院	③ 唐津市役所	厳木 997	53-7110
	④ 宇都宮病院	本山 386-1	63-2515
	⑤ 新屋敷病院	相知町 町切 898-3	63-3131

非常時持ち出し品

万一の時に備えて、家庭では次のようなものを備え、定期的にチェックしておきましょう。

- 必需品
 - 懐中電灯
 - 携帯ラジオ・予備電池
 - 飲料水
 - 非常食
 - タオル
 - 貴重品
 - 救急セット
 - 衣類・下着類
 - ロープ
- 必要に応じて準備しましょう
 - ちり紙
 - 粉ミルク・床乳びん・紙おむつ
 - ヘルメット
 - 携帯ナイフ
 - 使い捨て食器
 - ドライシャンプー
 - 軍手
 - 携帯袋
 - せつけん



※10年確率降雨とは、概ね10年に1回の確率で降る大雨（一時間降雨量60mm）のことです。

平常時の心得

まさかの時に備え、災害時について普段から家族で話し合っておくことが大切です。

1 大雨や台風に乗って、家のまわりを点検・整備しておく。

家のまわりを吹き飛ばされそうなものは、破損するものはないか確認しておきましょう。

2 天気予報や気象状況に気をつける。

大雨や台風シーズンなど、気象情報に注意し、テレビ・ラジオ・新聞の天気予報に注意し、天気の変化に気をつけておきましょう。

3 避難場所や避難路を確認しておく。

この地図には、洪水時に避難する場所が示されています。自分の地区の避難場所はどこなのか、安全に行くためにはどう行けばいいのかわかるように確認しておきましょう。

4 非常食や持ち出す物などを準備しておく。

非常食には、調理の手間がかからず、水もあまり使わないもの（レトルト食品や缶詰など）を選びます。また、懐中電灯やラジオ、乾電池も忘れずに用意しておきましょう。

5 一人暮らしのお年寄りなどには気配りを。

自分の家族や住まいだけでなく、地域全体にも目を向けましょう。特に、一人暮らしのお年寄りや高齢者の人たちは、ふだんからの気配りが必要です。

6 高い道路を通りましょう。

避難にはできるだけ高い道路を選び、浸水箇所があった場合は、溝や水路に十分注意しましょう。また、がけ地などでは土砂災害に注意しましょう。

避難時の心得

高齢者や障がいのある方など、災害弱者への対応。

高齢者・障がい者・傷病者・妊産婦・乳幼児・児童など災害時に正確・迅速な行動をとりにくい方たちを災害から守るためにみなさんと協力できるようにしましょう。

高齢者や病人

複数の介助者で対応しましょう。急を要するときは、ひもなどをを使って背負い、安全な場所へ避難しましょう。

肢体の不自由な人

それぞれの人に適した誘導方法を確認しましょう。車椅子の場合は、階段では必ず3人で協力し、上がるときは前向きに、下るときは後ろ向きにして恐怖感を与えないように配慮しましょう。

目の不自由な人

「お手伝いしましょうか」などと、まず声をかけましょう。話しかけるときは、はっきりゆっくり、大きな声で、誘導するときは、杖を持つようであれば、杖とペンで確認しましょう。紙やテープが視界を妨げれば、相手の手のひらに指先で手を合図して誘導します。

地すべりや土石流など、雨に伴って様々な災害が発生する恐れがあります。強い雨や長雨には十分に気を付けましょう。

地すべり

比較的緩やかな斜面において、地中の粘土層などが滑りやすくなり、地下水の影響などでゆっくりと動き出す現象です。一度に広い範囲が動くため、ひとたび発生すると住宅、道路、鉄道、林地などに大きな被害を及ぼします。

急傾斜地破壊

地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちる現象です。崩落時に崩れ落ちるので、逃げ遅れる人も多く死者の割合も高くなります。

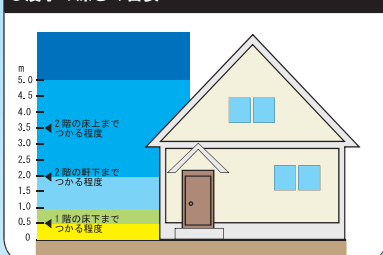
土石流

谷や斜面にたまった土・石・砂などが台風などの集中豪雨による水と混じり合い、一気に流れ出してきます。破壊力が大きく、また、速度も速いので大きな被害をもたらします。

● 雨の降り方の程度

やや強い雨 1時間に10～20mmの雨	強い雨 1時間に20～30mmの雨	激しい雨 1時間に30～50mmの雨	非常に激しい雨 1時間に50～80mmの雨	猛烈な雨 1時間に80mm以上の雨
地面一面に水たまりができ、話声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。	土砂降りの雨。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。下水があふれ、小川川などははんらんや崖崩れの心配もあります。	バケツをひっくり返したような激しい雨。山崩れ、崖崩れが頻りに起こります。道路規制も行われます。非難の準備を。	滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。室内で寝ている人の半数くらいが気づくほどの雨。中小の河川はんらんし、水害発生の可能性が高まります。	滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。大雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、重要な警戒が必要です。避難勧告や避難指示等が出る場合があります。

●浸水の深さの目安



●内水はん溢とは？

